

神向寺海岸視察結果

平成25年10月12日



千葉県

視察概要

視察日 : 2013年7月10日

視察場所: 茨城県鹿嶋市神向寺海岸、小宮作海岸

視察内容: 粗粒材養浜が施工完了した神向寺海岸と、
施工中の小宮作海岸の、海浜の状況を視察。
現場説明には、施工を行った茨城県にも御協力を
いただいた。視察後はアンケートを実施。

参加委員: 8名



一宮と神向寺海岸の位置



当日の現場説明の状況

神向寺海岸の粗粒材養浜施工内容

- 一宮海岸と同じく、両端にヘッドランドが施工済み。
- 2005～2008年にかけて粗粒材（2.5～13mm）を87,000m³投入した。



粗粒材養浜施工前

2002年9月8日



養浜前 波が直接護岸に作用し、飛沫が背後地に及んでいた

養浜完了1年後

2009年5月26日



養浜後：砂浜が広がり、安定化。

当日の現地状況(1)



汀線付近から海岸線方向に撮影



沖向きに撮影

- 粗粒材養浜を行うと、浸透性の高い礫層ができるが、そこに夏季の静穏波が作用すると、礫層上に細砂が堆積する。
- 沖側にも細砂が広がり、遠浅な海岸となっていた。

当日の現地状況(2)



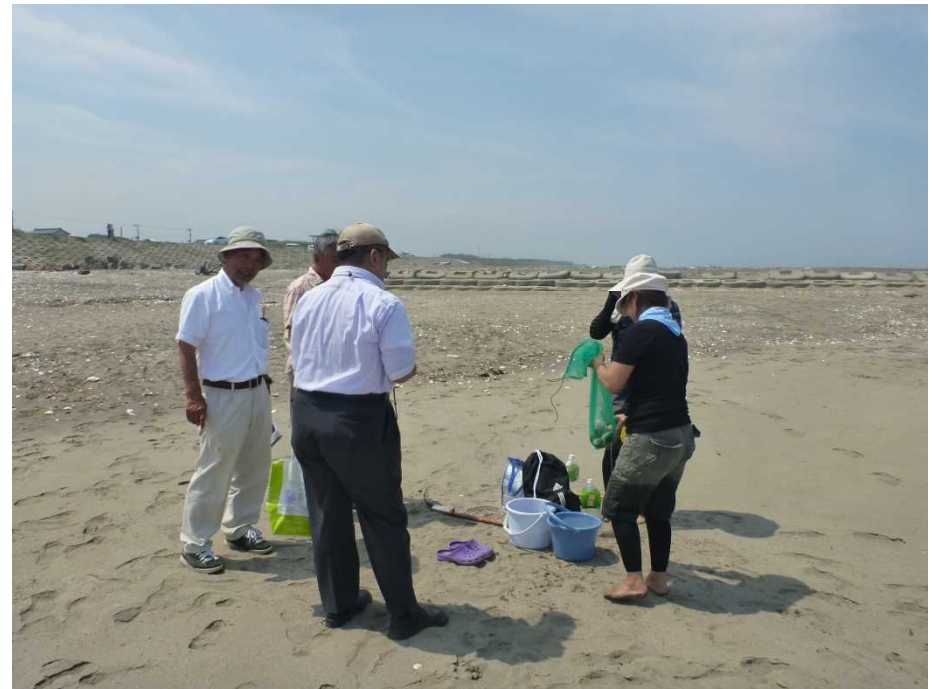
汀線付近での掘削状況

- 実際に汀線付近で掘削してみると、細砂が50cm程度の厚さで堆積していた。

当日の現地状況(3)



地元サーファーへのヒアリング状況

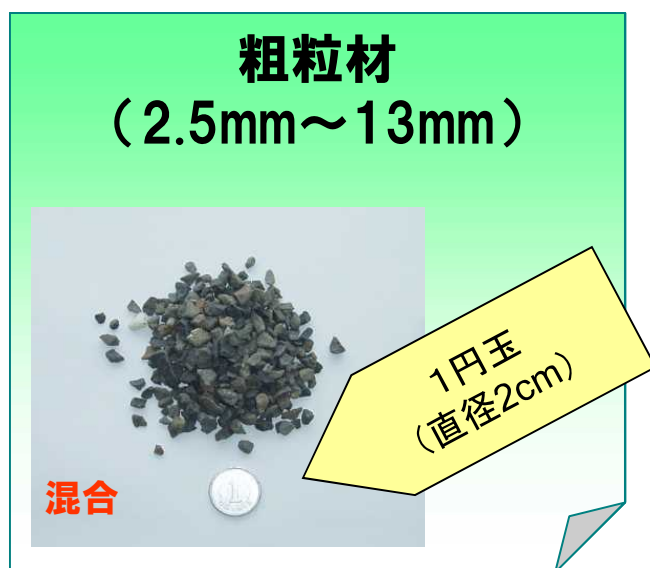


地元住民の潮干狩り状況

アンケート結果概要(1)

1. 粗粒材養浜の印象

(1) 粒の大きさ	大きい	ちょうど良い	小さい	そのほか
	3人	2人	0人	2人
(2) 粒の色	黒い	ちょうど良い	白い	そのほか
	5人	0人	0人	1人
(3) 粒の形	とがってる	ちょうど良い	丸い	そのほか
	4人	1人	0人	1人
(4) 砂浜	広い	ちょうど良い	狭い	そのほか
	0人	1人	4人	1人



アンケート結果概要(2)

2. 3-4号間の粗粒材養浜について

賛成	まだわからない	反対	試験養浜の結果で判断したい
1人	2人	2人	2人

本施工には慎重意見が多い、試験養浜箇所として1号HL周辺の提案があった。

3. 3-4号間の対策案について(複数回答可)

粗粒材	細砂養浜	構造物	その他
2人	2人	0人	3人

粗粒材と細砂の養浜をセットでやるべきとの意見もあった。



アンケート結果概要(3)

4. どのような養浜が良いか

(1) 粒の大きさ	茨城と同じ でよい	小さい方が 良い	大きい方が 良い	無回答
	2人	1人	1人	2人
(2) 粒の色	黒い	白い	一宮の砂と 同じ	無回答
	0人	2人	2人	4人
(3) 粒の形	とがってる	丸い	無回答	
	0人	3人	5人	



アンケート結果概要(4)

5. 自由意見

- ①茨城県の粗粒材投入は成功事例だと思う。
- ②粗粒材養浜は「砂浜の土台の再生・修復」と考え方を整理する方が良い。
表層の生物の生息や人の利用部分は細砂が理想
- ③生物の定着は茨城のデータを参考にする。一宮での生物調査は万全にする。
- ④試験的に実施もする意味はある。
- ⑤まずやってみて一步一步前に進むことが大事。
- ⑥私の魅力ある海岸は白砂で広い海岸。
- ⑦試験箇所は、まず1号の方が良い。
- ⑧入手できる粗粒礫を投入する以外に手法がないのであればトライするのもよい。
- ⑨住民と良く話合って、良い砂浜づくりを。

